



廿日市市

地域支援員だより



2025 秋号

写真提供：茅葺屋根の家と稲刈りの風景(浅原地区)

地域支援員とは

地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかりながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。任期は最長3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、廿日市市でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。



広島駅ミナモアにて宮島細工の体験イベントを開催

8月16日(土)、ミナモア 3F mio by DoTS にて、廿日市市主催の木工体験イベントを開催しました。会場では、宮島彫伝統工芸士・大野浩さんと沖田要さんによる「宮島彫体験」、地域支援員・下村による「宮島ロクロ体験」、廿日市の木工職人による「鉋削り体験」など、多彩なプログラムを実施。参加者の皆さまに木の魅力や伝統工芸の技を体感していただきました。当日は多くの方にご参加いただき、会場は大いに賑わいました。体験を通して伝統工芸の魅力やものづくりの楽しさをお伝えできたと思います。



宮島ロクロ体験



宮島彫り体験

宮島細工の展覧会の開催のご案内

11月20日(木)～11月30日(日)、はつかいち美術ギャラリー第1・第2展示室にて「宮島細工の匠展」を開催します。会場では、宮島細工を代表する「杓子」「ロクロ細工」「宮島彫」をはじめ、杓子づくりを考案した誓真による杓子や、明治時代に足踏みロクロで作られた丸盆、彫刻技術を宮島に伝えた波木井昇斎の菓子器など、歴史を物語る貴重な作品をご覧いただけます。さらに、宮島細工の発展に尽くした先人たちの作品から、今も活躍する作り手による新しい作品まで、宮島細工の“昔と今”を一度に楽しめる展覧会です。ぜひこの機会に、宮島細工の魅力にふれてみてください。



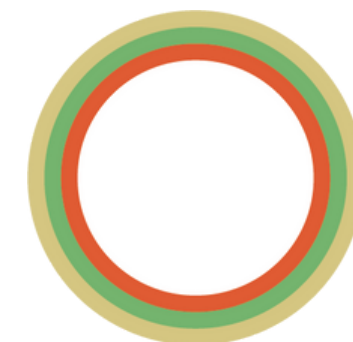
展示予定作品 一部

伝統工芸継承担当 下村

商店街みんなの広場『マルマル』完成!!

このたび、広電廿日市駅近くにある廿日市一丁目集会所のよこの空き地が**商店街みんなの広場『マルマル』**として生まれ変わりました。この名前には、○=丸=円=縁 ということから「この広場をきっかけに人と人との円(縁)が拡がり、商店街に足を運ぶきっかけになってほしい」という思いが込められています。

また、8月8日(金)には『マルマル』のオープニングイベントを開催し、当日は多くの方が足を運んでくださいました。イベント中は、けん玉やシャボン玉で遊ぶ子どもたちやビール片手に談笑する大人たち、この日設置したベンチやテーブルで過ごされる方々など、和やかな時間が流れていました。



マルマル
商店街 みんなの広場

今後は、この広場を常時開放し、皆さんの思い思いの時間を過ごしていただきたいと思います。広場内のルールやイベント開催のルールなどはSNSまたはホームページで随時情報を発信していきますのでご確認ください。

Instagram



商店街みんなの広場 マルマル

商店街活性化担当 狩山



探究を支える地域の力、打ち合わせを実施

8月29日(金)、佐伯高校で総合的な探究の時間「SAEKI QUEST」を支える教員や地域の方々が集まり、2学期に向けた事前打ち合わせを行いました。協議では、探究の方向性に迷う生徒への声かけや、自己探究をリスタートできる環境の大切さが共有されました。また、地域課題や過去の探究をまとめた資料を、自己探究をテーマにした部屋に用意してはどうか、といった具体的な提案も寄せられました。学校と地域が意見を交わしながら、生徒が主体的に学べる環境づくりを進めています。

【小瀬川で魚が釣れるポイントを発信する分布図づくり】



7月のチャレンジプランコンテストで最優秀賞を受賞し、活動資金でリールを購入。夏休みに佐伯・吉和地域で釣りをを行い、釣れる魚や場所を調査しました。また、吉和川漁業協同組合から小瀬川の現状や課題についてお話を伺い、釣れないスポットの原因や整備の必要性について質問も行いました。今後どのような分布図が完成し、地域でどう活用されるのか楽しみです。

【10代のスキンケアについて】



肌トラブルの経験からスキンケアに関心を持った生徒は、クリニックの先生への電話インタビューに続き、9月には化粧品会社の代表を招いてスキンケアレッスンを受けました。正しい洗顔方法やニキビの対処法を学び、その場で質問も行うなど熱心に取り組みました。体験後には「とても楽しかった」と笑顔を見せ、探究を深める貴重な機会となりました。

このように、地域の課題から身近な生活まで幅広いテーマで探究が展開されています。その他にも多様なテーマで活動が進んでおり、今後の成果発表が楽しみです。

佐伯高校魅力化担当 稲田

生徒の探究を紹介



地域支援員ファームで収穫体験を実施しました！

7月23日(水)、地域支援員ファームでとうもろこしの収穫体験を実施しました！定住推進担当支援員と協力し、農業を通じて中山間地域での暮らしに興味を持ってもらえるよう企画しました。当日は沿岸部から保育園児と小学生合わせて30人近くが参加し、大盛況となりました！収穫後に浅原の元空き家を改築した民泊施設へ移動し、空き家の解説をするとともに収穫したてのとうもろこしを焼いて試食しました。とれたてのとうもろこしは非常に甘く、おかわりが続出するほど子どもたちからは好評でした。今後も引き続きファームを活用したイベントを開催していきたいと思います。



マコモタケプロジェクト今年も実施します！



現在マコモタケが順調に生育しています。そこで、昨年好評いただいたマコモタケプロジェクトを今年も開催することに決定しました！9月末～10月上旬にかけて全3回にわたり、様々な観点からマコモタケと触れ合える企画を実施します。昨年に続き料理教室・ほ場見学&ピザ作りをするほか、新たにマコモタケの収穫体験を行う予定です。イベントの詳細は、地域支援員の公式サイト等で追ってお知らせします。ぜひご参加ください！

地域農業活性化担当 乾

7/31木イベント・8/21蜜蝋ラップイベント開催！



夏休み期間、玖島在住の黒田さんと端材教室ボランティアの皆さん、地域支援員の下村さん、常藤さん(常藤家具店・きくら)にご協力いただき、玖島で木工イベントを開催いたしました。夏休み中の小学生をはじめ、大人も真剣に手引きロクロやカンナ削り、端材木工を体験。プロの技に触れる貴重な機会となりました！



約1200人来場「玖島きんさい盆踊り」



8月16日(土)玖島きんさい盆踊りが開催されました。初めて実行委員会形式で運営。土砂降りにより、大変足元悪い中でしたが、近くから遠くから多数ご来場いただき、盆踊りや花火、内外の出店やイベントを楽しんでいただきました。



秋にはマコモタケのクッキングやハロウィンイベント、文化部主催の本気・玖島コスモスプロジェクトやさつまいも掘りイベントが予定されています！ぜひインスタグラムをチェックしてみてください。



※地域支援員だより2025夏号に於いて、伝統工芸士 故佐藤満様のお名前を誤って記載しておりました。謹んでお詫び申し上げます。

玖島・大峯山の麓で養蜂をされていた島友香さんに、蜜蝋ラップの作り方を教えていただきました。養蜂や蜂のお話はとても興味深く、皆さん質問が止まりませんでした！繰り返し使える蜜蝋ラップが完成。山の蜜と街の蜜の試食も行いました♪

玖島地区活性化担当 東

8/2(土)津田オープンDAYを開催しました!!

子育て世帯に津田地区の魅力を伝えるため「津田オープンDAY!!」を開催しました。津田小学校のオープンスクールでは、小林校長が小規模校ならではのきめ細やかな教育や、自然に囲まれた環境の中で子どもたちがのびのびと学ぶ姿の紹介をしました。参加された保護者の方々も、子どもたちのいきいきとした様子に関心を寄せていました。

当日は移住に向けた個別相談も実施。仕事や子育て環境、移住支援制度などについてお話を伺い、不安や疑問にお応えしました。また、空き家相談会も開催し、実際の暮らしを具体的にイメージできる機会となりました。当日はメディアの取材もあり、佐伯地域の魅力がより多くの方に伝わるように引き続き活動して行きたいと思います。

中山間地域と都市部等のつながりプログラムに参加

このたび広島県の「中山間地域と都市部等のつながりプログラム」に参加し、地域と都市部をつなぐ新たな可能性を実感しました。ワークショップでは、中山間地域の魅力や抱える課題を共有し、都市部住民や企業との協働による解決策を考えるプロセスを学びました。単なる支援ではなく、双方が得意分野や資源を持ち寄り、継続的な関係性を築く重要性を再認識しました。また、他市町を含めた実践者との交流を通じて、多様な視点やアプローチに触れ、自分の活動にも応用できるヒントを得られました。都市と地域が目線を合わせて支え合うことが、持続可能な地域づくりの鍵であると感じました。

今回の学びを今後の活動に生かし、地域内外のつながりを深めて中山間地域を盛り上げて行きたいと思います。



定住推進担当 田崎